



# ヘルパンギーナ

## 🔍 病気の説明 (どんな病気?)

コクサッキーウイルスA群(A2, 3, 4, 5, 6, 10など)が主な原因となります。春から夏にかけて多く発生し、5歳以下の乳幼児に好発します。突然の発熱に続いて咽頭痛が出現します。口腔内には1~2mmの痛みを伴う水疱ができ、痛みのために食事や水分がとりにくくなり、脱水症状を呈することがあります。原因となるウイルスが複数あるため、再感染することがあります。

## 🔍 予防 (感染はどう防ぐ?)

飛沫感染(咳、くしゃみ、唾液など)、接触感染(感染者の飛沫などに触れた手で、口・鼻・目などの粘膜を触ることによる)です。また、糞口感染(便と一緒に排泄されたウイルスが口に入ることによる)もあります。

潜伏期間は2~4日です。

予防には、咳エチケットとこまめな手洗いが重要です。アルコールは効きにくいので、日常的に触れるおもちゃなどの環境消毒には、次亜塩素酸ナトリウムを 사용합니다。また、タオルなどの共用は避けましょう。治った後も2~4週間程度と長い期間、患者の便と一緒にウイルスが排出されるため、患者が乳幼児の場合はおむつ交換後の手洗いも重要です。



## 🔍 治療 (感染したときは?)

基本的に対症療法です。水分を少量頻回に与えるなど、脱水にならないように注意します。

## 🔍 登園・登校の基準

発熱がなく、口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく普段の食事がとれるなど、全身状態が安定している場合は登園・登校が可能とされています。

治った後も、数週間にわたり便からウイルスが排泄されるため、トイレの後や排泄物の処理後の手洗いは、引き続き重要です。

- 🔍 詳しく知りたい方は
- 🔍 横浜市の流行状況

[ヘルパンギーナについて | メディカルノート \(medicalnote.jp\)](https://medicalnote.jp)  
[横浜市感染症情報センター 横浜市 \(yokohama.lg.jp\)](https://yokohama.lg.jp)

